

平成25年度予算見積調書

課室名：商業・サービス産業支援課

担当名：映像コンテンツ担当

内線：3734

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B12	世界に羽ばたけ！若手映像クリエイター支援事業費			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	映像関連産業振興費	
事業期間	平成23年度～平成25年度	根拠法令	なし	戦略項目			分野施策	030104 サービス産業の振興	
1 事業の概要 若手映像クリエイターへの支援を強化するため、“映画祭から映画館へ”を掲げて、SKIPシティ国際Dシネマ映画祭にエントリーされた作品の中から良質な作品を厳選し、より多くの方に鑑賞いただけるよう、一般の映画館での上映を支援する。 (1) 若手映像クリエイターの支援事業費 5,171千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 連絡調整 上映館との調整、宣伝、現地確認のための職員旅費 6千円 イ 配給業務 1作品5館での配給業務（映画館での上映）実施人件費、広告宣伝費、上映費等 5,165千円 （上映支援）（作品選定 4～7月、作品関係者との条件交渉 6～7月、上映館との交渉・調整 8～3月、広告宣伝 7～3月、上映（興行） 2～3月） (2) 事業計画 ア 平成23年度～平成25年度 当事業を「SKIPシティDシネマプロジェクト」と銘打ち、3年連続して配給業務（上映支援）を実施する。この間、配給業務のノウハウを蓄積しながら、同プロジェクトの知名度を上げ、SKIPシティDシネマ映画祭の存在価値を高めていく。 イ 平成26年度～ 当事業を映像関連産業振興費に統合し、彩の国ビジュアルプラザのクリエイター支援業務の一つとして同プロジェクトを実施していく。 上映支援のある映画祭として、「SKIPシティDシネマ映画祭＝クリエイターの登竜門」との地位を固めるとともに採算のとれるビジネスモデルを確立する。 (3) 事業効果 ア クリエイターからの要望が最も高い上映支援（作品の劇場公開）に繋がる映画祭として、SKIPシティ国際Dシネマ映画祭が「クリエイターの登竜門」との知名度が上がり、かつ評価が高まっている。 イ 配給業務のノウハウを彩の国ビジュアルプラザの運営業務に活用することで、クリエイターへの支援を強化している。 ウ 平成23年度の支援作品については、劇場公開を機に、その後、国内外の映画祭に招待上映されたり、他の映画館で上映されたりといった効果がでており、支援されたクリエイターが活躍の場を広げている。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.3人=2,850千円									
予算額				財源内訳				一般財源	前年との対比
決定額	5,171							5,171	△1,628
前年額	6,799							6,799	